

## 第18回広島県環境影響評価技術審査会第2部会 議事録

### (1) 開催日時

令和2年8月6日(木) 13:30~15:30

### (2) 出席者の氏名

委員：西村委員 中坪委員 福本委員 山本委員

参考人：電源開発株式会社, アジア航測株式会社

### (3) 会議に付した議案の件名

(仮称) 広島西ウインドファーム事業計画段階環境配慮書に係る審査

### (4) 議事の概要

- 環境保全課長の挨拶の後、中坪部会長の議事進行により議事が開始された。
- 第2部会委員8名中、出席委員4名で、広島県環境影響評価に関する条例施行規則第47条第5項の定足数(半数以上)を満たした。
- 西村委員を議事録署名委員に指名。

#### ■全体的事項について

- (委員) 事業計画において、未定であるという項目が多い印象。配慮書では計画立案段階であることから、詳細が未定であることは理解しているが、今後、具体的な内容が未定のため評価ができない、ということが続かないか懸念される。意見案の中に、具体的な内容や複数の事例について、検討していくことを強調してもいいのではないか。
- (事務局) 意見案の中で、計画段階配慮事項に選定されていない項目についても、環境影響評価の項目として選定することを意見する予定である。
- (委員) 本件は時間をかけて進めなければ、地域住民の理解は得られないだろう。相互理解を深めるためにも、時間を確保することは必要である。

#### ■騒音及び超低周波音について

- (委員) 意見案の中の「よしわせせらぎ園」とは、どのような福祉施設なのか。事業実施想定区域は住居地等と近く、影響範囲に配慮すべき施設が入ってくる。事業者は方法書の段階において、そこまで調べて配慮する必要があるだろう。
- (事務局) 配慮書には「よしわせせらぎ園」に関する記載はなく、廿日市市意見において「よしわせせらぎ園」が挙げられたため、意見案では「福祉施設(よしわせせらぎ園等)」とする予定である。どのような福祉施設かについては、把握しておくようにする。

#### ■地形及び地質について

- (委員) 断層だけでなく中国山地の崩れやすさが重要だと考えられる。一般に断層については地震を想定しているのだと思うが、広島県では豪雨による土砂崩れの方が関心が高い。
- (事務局) 気象災害については、意見案の全体的事項で触れている。そのため、全体的事項「その他」もしくは個別事項「地形及び地質」のどちらかで、その旨を追記する。

■風車の影について

( 委 員 ) (意見なし)

■動物について

( 委 員 ) 事業実施想定区域は、クマタカ、イヌワシ、ハチクマ等の生息等が確認される。風車を設置する場所が風通しの良い地域のため、渡りの経路と一致することから、十分な調査をしてほしい。

また、工事による水系への影響がほとんど無いとされているが、重要な魚類や両生類が生息しているため、十分な調査をしてほしい。

( 委 員 ) 工事に関する部分については、風力発電設備の建設後を意識して、土地の改変による影響がないと評価しているように見られる。工事中の一時的な部分も含めるよう、知事意見案では強調してはどうか。

( 事 務 局 ) 意見案の中に、その旨を追記する。

■植物及び生態系について

( 委 員 ) (意見なし)

■景観について

( 委 員 ) (意見なし)

■人と自然との触れ合い活動の場について

( 事 務 局 )

( 委 員 ) (意見なし)

■ 全体審議について

( 委 員 ) (意見なし)

■ 答申の作成について

( 部 会 長 ) 出された意見を踏まえ、内容の修正を行うが、修正については、部会長にご一任いただきたいがよろしいか。

( 委 員 ) (異議なし)